

全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 11 月度理事会議事録

平成 21 年 11 月 18 日 (水) 午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 39 クラブ (欠席 5 クラブ)

- ・藤原副会長を議長として 19 時議事に入る。

理事会開催に先立ち、10 月 25 日に行われた協会秋季大会に於いて、高槻サーフの会員が波止より転落し、亡くられる事故があり、また、吉本協会長が長年病氣と闘っておられましたが 11 月 10 日に、亡くなられたとの報告があり、ご冥福を祈って全員で黙祷を行った。

**第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟 11 月度連盟常任理事会報告 (池田副会長)**

(連盟議事録から転載)

日時:平成 21 年 11 月 4 日(水)16 時 01 分～18 時 03 分

場所:新大阪丸ビル新館 5 階 506 号会議室

岩田連盟会長挨拶

11 月常任理事会にご参集いただきご苦労様です。ご承知の通り、来年の新年総会は連盟創立 45 周年祝賀会がメインとなりますので、実質的な審議は本会を含め 12 月の会議のみです。したがって承認事項や来年度の行事日程は 12 月の会議で決定いたします。さて、先日大変残念な事故が発生しました。詳しくは事故防止部長や事故当事者が所属する大阪協会長の報告。さらに事故発生地の県下に在住し、捜索に立ち会った連盟会長として補足説明もいたします。不幸な事故を無くすため事故説明および防止策などの審議事項を協会会議などで報告するとともに、事故防止講習会などに活かしてください。

- ・続いて吉本専任議長 (大阪協会長) を本会の議長に指名し、審議に入る。

**■議題 1 10 月本部役員会報告 岩田連盟会長**

- ・本部役員が使用する携帯電話の料金ですが、運営上必要な連絡であっても、一台の携帯電話では発信先の区分けが困難とのことで、自己負担となっていた。このたび、一台の携帯電話に二つの番号を登録することができ、使用料の請求書も別々に発行できる機種制度 (2in1) があることが分かり、機種資料でも使用先は明確になることが確認された。したがってこの方式を採用することにした。尚、方式を採用する本部役員は各方面に頻繁に連絡する機会の多い連盟会長、事務局長、同補佐、会計部長、大物部長、同次長、S C 部長に限定し、その中でも希望者のみとした。11 月時点で機種変更をおこなった役員は連盟会長・大田事務局長と池田大物次長 (080-4026-1091) の三名である。尚、連盟会長と事務局長は従来と同じで、番号の変更はしていません。

※議長の要請に対し、議題 1 の報告事項を了承した。

**■議題 2 事故報告 谷後事故防止部長**

- ・事故は平成 21 年 10 月 25 日 (日) 午前 2 時 19 分に愛媛県今治市桜井 5 丁目「桜井漁港」で発生した。
- ・被害者は大阪協会の 69 歳の会員です。
- ・事故は協会釣り大会に同クラブ 4 名の会員で同地を訪れ、上記会員が防波堤から転落、死亡したものである。事故の直接原因については不明です。

吉本大阪協会長

- ・事故の報告は午前 2 時 30 分頃、被害者が所属するクラブの会長から入る。
- ・直ちに連盟会長および協会副会長に携帯メールにて連絡する。
- ・事故現場に駆けつけた連盟会長の説明では防波堤の全長は約 200 ㍎あり、幅は約 6 ㍎、海面からの高さは満潮時約 4 ㍎、陸続きであるとのこと。また打ち寄せる波のエネルギーを吸収するため外海側には防波堤内部に海水が入るように開口部分を連続的に設けてある構造であるとのこと。
- ・被害会員は防波堤の先端から約 50 ㍎戻ったところで釣りをしていた。
- ・被害会員が転落した直後、近くで釣りをしていた一般の釣人が玉網を差し出し、つかまらせた。続

いて同行していた会員がクーラーのベルトにロープを結び付け、被害会員に抱えさせた状態で内港側に引っ張っていくが、波・風とも強く転落地点から 30 ほど移動した辺りで、被害会員は海中に消える。

- ・救助作業に並行して今治海上保安部と今治東消防署に救助の要請をおこなう。

#### 岩田連盟会長

- ・現場に駆けつけたとき、保安部の巡視艇やセスナ機、また消防署のダイバーや多くの関係者が捜索作業をおこなっていた。昼前には県警のアクアリング隊も加わり捜索したが、天候の悪化と日没のため、この日の捜索は中止となる。
- ・翌 26 日（月）も朝から民間のダイバーによる捜索が開始されたが天候は回復せず午前中で捜索は中止となり、27 日に改めて捜索することになった。
- ・午後になって天候は回復し、波・風とも穏やかになる。
- ・天候が回復された午後は地元の漁業組合の指示により、底引き網漁船を含め数十隻が出て海上から捜索を再開する。
- ・午後 3 時頃に被害会員の消えた辺りの海中から、ブーツの中敷が浮く、直後の午後 3 時 20 分頃、大変残念な結果で発見された。

#### 原因と検証

- ・転落の直接的な原因は不明だがご家族のお話では被害会員さんの血圧は最近高めであり、本人も幾分気にしていたらしい。あくまで仮定であるが被害会員さんが何かの思いで立ち上がったとき、立ち眩みでもおこしたのではないかと？
- ・救助にあたった同僚会員の報告では、ロープで横方向に引っ張ることは正面から引き寄せる方法と全く違う。今回のケースでは防波堤の角や壁側の突起物にロープが接触することから、思うようにならなかった。
- ・現場に居た海上保安員や消防署員の話では、事故に備えライフジャケットと防水型の携帯電話は必需品であることを強く勧められた。

注・確かにこの二点を備えておけば万一の場合、助かる確立は高くなるだろう。

- ・本部事故防止部および大阪協会ではライフジャケットを釣行の必携品として渡船利用以外でも着用の義務付けを啓蒙するとともに、連盟の方でもメーカーさんと協力して、低価格で使用者の連絡先や血液型などを明記したタグを縫い付け全日本サーフオリジナルのライフジャケットを検討したい。
- ・大田事務局長の報告では、ライフジャケットにはベスト式、ポシエット式、自動および手動膨張式と数種類ある。落水実験の結果、一番使用感の良かったのは従来のベスト型（カポック式）で、膨張式は物に引っかかったとき破損する恐れがある。また、ポシエット式は飛び出した浮きを引き寄せるのに手間が掛かったと説明がある。
- ・最後に連盟会長から、捜索を見守っていて気付いた点として、個々の捜索事例によって違うかも知れないが、公的機関の捜索は一日で終わり、翌日からは民間すなわち有料の捜索になると聞いた。二日目の捜索が全て有料ならば莫大な費用が発生しているだろう。ご家族にしてみれば何日掛かっても捜索は続けて欲しいと願う心情は当然だろう。改めて事故防止講習会の全協会実施と釣り保険の加入を今まで以上に強調しなければいけないと痛感した。もちろん保険が役立つようなことが無いのが最良であることは言うまでもない。

#### ■議題 3 全日本 S C 選手権大会収支報告 P T 松井香川協会長/薦広島協会長

- ・大会の収支報告書および台湾からの選手団来日に要した費用の明細書が配布後それぞれ担当者の説明がある。
- ・常任理事会の発表前に二事項の明細を宗貞本部監査役に提出し、監査を受けた。監査役の報告では、関連資料を精査した結果、適正に処理されていることが認められた。但し、領収書の取れないもの（自動販売機や ETC 利用料など）については当事者が使途の明細を明記した領収書を作成したもので良いから、資料に添付するよう勧告したと報告もあった。

※議長の要請に対し、賛成多数により大会収支報告および台湾関連の経費明細報告は承認された。

#### ■審議 4 全日本 S C 選手権大会成績報告 P T 香川協会

- ・松井 S C 部長より、成績表の配布と二名の三成績を日本記録として承認願いたいと要請がある。以下は記録成績。
- ・3 種目三投平均 149.57 ㎍ 応谷清正氏（備後協会・尾道磯釣サーフ）
- ・6 種目三投平均 213.91 ㎍ 船曳正義氏（兵庫協会・西宮天狗クラブ）
- ・6 種目最長記録 218.89 ㎍ 船曳正義氏（兵庫協会・西宮天狗クラブ）

※議長の要請に対し、三成績の日本記録は承認された。

#### ■審議 5 第 91 回全日本カレイ投げ釣り選手権大会 P T 山口協会

- ・会場別・協会別参加一覧表の配布があり、47 会場・230 クラブ・2,094 名（女・少 42 名）の参加申込みであったと報告される。
- ・大会前日の船釣りは認められるかとの質問が P T まで届き、船釣り、またはルアー釣りであろうと紛らわしい行為は大会全般に混乱を来たす。したがって禁止すると伝えた。これに対する常任理事会の見解を伺いたい。
- ・常任理事会も P T の回答と同様であるとした。
- ・釣り場責任者に発送する（11 月 5 日発送）書類の中に、CDRW を同封している。これは次回大会の折にも使用できるので、各協会長は釣り場責任者の方に必ず P T まで、CDRW を返却するようお願いしたい。

#### ■審議 6 45 周年記念事業 記念誌渡辺編集長代理

- ・本日で 6 回目となる編集会議を経て構成内容全体の 7 割程度の準備ができた。
- ・協会長執筆依頼の原稿も二協会を除き、すべて提出された。
- ・スーパーランクのポイント紹介の提出期限は過ぎているが、原稿依頼が本人に渡っていないケースがあり、該当の会員さんには期限の延長を考えている。
- ・大会行事関係の掲載内容では今までのキス・カレイ優勝者やクラブ対抗キスの優勝協会（クラブ）などを判明する限り紹介したい。
- ・記念誌の編集会議は 12 月 5 日の会議で一旦終了し、編集後記など残ったものは主要メンバーでおこなう予定である。

祝賀会大田事務局長/岩田連盟会長

- ・当初祝賀会はメルパルク 5 階の「カナール」、総会を 4 階の「ソレイユ」でおこなうとしていたが都合により、会場を入れ替えておこなう。案内についてはすべて入れ替えた会場を明記しているので、支障はないものと思う。尚、会報 226 号 18 ページに祝賀会の案内を掲載している。この中で、記念誌の代金を 11 月中に納入としていますが平成 22 年 2 月末（登録費と同じ）納入と訂正してください。
- ・祝賀会の参加申込みについては 12 月 6 日の年末総会受付にて参加名簿を提出してください。参加費（10,000 円）は来年 1 月 15 日までに、協会単位で本部会計に納入してください。
- ・参加費（10,000 円）の内訳は料理、飲み物、記念品、諸経費および雑費として賄われます。
- ・祝賀会参加のおり、服装は平服（スーツ）でお越しください。但し、協会長は礼服をお願いします。（会場に着替え用のルームがあります）
- ・キャンセルとなった場合、参加費の返却や代理参加は可能なのか、また記念品は決定しているかなどの質問がある。
- ・キャンセル料発生の有無は時期にもよるが会場側次第である。またキャンセル者の記念品については実費購入していただく。代理参加については支障ない。記念品は未だ決定はしていない。不参加者に対する記念品の販売については多少多めに注文するようになると思うので、在庫になった分は実費販売する。

注・会議後、記念品は 12 月 5 日の会議選定で間に合うとのことなので、何点かノミネートした中から決定したい。

在籍表彰大田事務局長/岩田連盟会長

- ・集計の実務作業をおこなっている池田大物次長の説明では、現在 14 協会からデータの返送がある。本日が期限であるが再度提出の連絡をおこなう。
- ・連盟会長より、在籍表彰の対象者は約 2200 名である。その内 45 年在籍者は全国で 9 名いる。また

40 年に該当する在籍者は約 120 名いる。表彰品は従来通りの在籍年数を表示したバッジとするが 40 年と 45 年の在籍者には長年の在籍を称え二段型のものとし、銀メッキの台座に在籍年数を表示し、金メッキを施した全日本サーフのマークを浮かびあがらせた仕様のものを作成し、授与する。

大物表彰としだ大物部長

- ・対象者は大物賞獲得号数上位 20 名と特別大物賞獲得号数上位 20 名(重複あり)の合計 40 名とする。予算は 20 万程度で考えている。

#### ■審議 7 年末会議大田事務局長 連盟会長・協会長・本部役員会議

- ・会議は案内通り 12 月 5 日(土) 16 時～21 時の予定で、新丸ビル 5 階・506 号会議室にておこなう。当日の夕食と宿泊は新丸ビルの新幹線東口側入り口の正面にあるホテル新大阪を予約している。議題については案内状の通りである。
- ・年末総会は 12 月 6 日(日) 正午～15 時 30 分の予定で、新丸ビル 4 階・405 号会議室にておこなう。
- ・連盟会長より、5 日の会議は第 91 回全日カレイと協会提出事項および平成 22 年度の行事日程を中心に審議し、6 日の総会で承認作業をおこなう。

#### ■審議 8

その他

大物部としだ大物部長

- ・年末集計の案内を 10 月 2 日付で協会大物担当者まで送付している。集計表の提出は 12 月 15 日としています。各協会長は確認のため担当者にお伝えください。
- ・大物システムのバージョンアップのため常任理事会で 30 万円の予算承認をいただいているが、年末集計にあわせ実行する。
- ・バージョンアップの内容は特別大物賞 300 号以上のバッジが不要になったので集計表の変更をおこなう。集計表にバッジの金額が記載されているが、細分化して金額を記載するよう変更する。新規加入や移籍があった場合、大物部の方で直接変更作業ができるようする。などです。
- ・新規加入者の大物申請は 1 月まで遡ることができる。但し、2 月以降の途中加入者については協会が登録を受け付けた日以降の釣魚とする。(確認です)
- ・大物申請は協会で作成する総括表に申請料をセットしておこなうのが正式手続きである。最近申請料の未納が見受けられる。未納が増えると大物運営の各所に支障が生じるので、ご注意願う。
- ・特別大物賞にあるソイの申請はクロソイ・ムラソイ・シマソイの三種であるが東北地方では大型のキツネメバル・タヌキメバル・ヨロイメバルが頻繁に釣れる。この場合、申請はソイの枠で良いのかと連絡があり、大物部会で審議した結果、現時点ではこれらの魚は申請の対象外とした。しかし、来年の常任理事会で再度審議をおこないたい。したがって審議次第では対象魚となる可能性もある。

事務局大田事務局長/宗貞事務局補佐

- ・会員登録に際して会費(本部会計へ振り込む)・登録名簿(本部事務局へ郵送)・釣り保険(クラブ選定)加入の三点セットで手続きをすること。また会費振込み票には必ず加入者の詳細を記入すること。
- ・来年度の会員登録用 CD の配布があった。宗貞補佐の説明では所定の位置に会員Noを半角数字で打ち込むと会員詳細が表れるよう作成している。(新規は新たに入力すること)
- ・クリーンアッププロジェクトの今年度実施詳細が報告される。詳細はホームページでも見られるが 13 協会・2 部署(本部・事務局)から終了の報告があった。5 協会は実施済みだが終了の報告がない。11 月末と 12 月に 2 協会が実施する予定。残り 5 協会は実施有無の意思自体報告がない。尚、実施済みの協会はホームページに掲載するので、回収ゴミを前に、実施メンバーの集合写真と簡単なコメントを下記のいずれかに報告願う。

※事務局⇒jofioota@msn.com

※広報部⇒620@mic-mia.com

※本部⇒ehime05@heart.ocn.ne.jp

事故防止部(k-tani2551@nexyzbb.jp) 谷後事故防止部長

- ・今年度の事故防止講習会開催届けの未提出協会が多くある。議事録にて 11 月末までに提出すること

を促していただきたい。尚、未開催であっても理由とともに報告はしてほしい。

企画部 (kisu356@kcc.zaq.ne.jp) 帷企画部長

- ・キス段位 (級位) 申請書を提出するよう案内があり、以下の要点説明もされる。
  - ・認定申請書の用紙には必ず前年度の繰越ポイントを記入すること。
  - ・認定申請書は 11 月末までにメール (最適)・郵送・FAX のいずれかで企画部長まで提出すること。
  - ・結果の発表は年末総会でおこなう。表彰については新年総会でおこなう。
  - ・手数料は 1 級位 1,000 円・飛び級 2,000 円です。納付は年末総会にて企画部長まで。(該当者は申請の手続きを早急にお取りください)
- ・本日、救命具のメーカーの高階さんに来ていただき、救命具に関する説明をして頂き、質問についても答えてもらった。

#### 第2号議案 事故報告について(太田事故防止委員長)

10 月 25 日に発生した、転落事故について詳細な報告があった。報告書については各クラブに配布する。

#### 第3号議案 秋季大会成績発表について(PT:大阪釣友サーフ)

先日行われた、秋季大会の成績発表 (団体、個人) と賞品授与を行った

- ・団体優勝は、大阪黒潮サーフ 253.5 cm (田中・白杉・養老)
- 2 位 滋賀投友会 243.4 cm
- 3 位 サーフ・スキッパーズ 233.9 cm

団体優勝の大阪黒潮サーフについては、次年度の初釣り大会のプロジェクトをして頂く。

#### 第4号議案 兵庫・大阪合同納竿大会について(事務局)

- ・本日、参加申込の受付をしているので会議終了までに申込をしてほしい。

#### 第5号議案 連盟年末総会・新年総会について(事務局)

- ・連盟事務局より年末総会の案内と出欠の葉書が各クラブ宛届いていると思うが、出欠締切が今月の 15 日となっている、以前からお願いしているが、出欠の葉書は必ず送って頂くようお願いします。
- ・連盟 45 周年記念祝賀会の参加申込については、本日行っている、参加費については来月の理事会でも良いが、連盟の締切があるので参加申込だけは、本日中にお願いしたい。

#### 第6号議案 その他

- ・伊達キス段位制担当よりキス段位制の申請が本日最終となっているが、申請される方は今週中に連絡がほしい旨報告があった。
- ・沢田広報部長より、協会 HP を更新しているので、見てほしい旨報告があったと同時に、全日本カレイにおいて皆さんが撮影した写真の提供依頼があった。  
HP のクラブ紹介について更新したいので変更があるクラブは変更内容を提出してほしい旨要請があった。

8 時 10 分終了